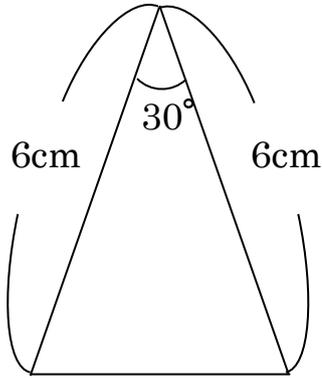


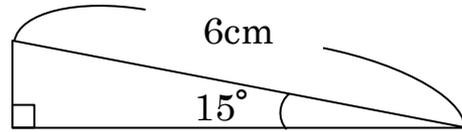
## 特別角と辺の長さ

問題 (1) (2) の図形の面積を求めなさい。

(1)



(2)



30°や 60°を見たら当然…アレですね。  
慣れれば当たり前の話ですが、慣れるまではなかなか気づけない問題です。  
このテキストでは、解き方の糸口を頭に入れておくことを重視しています。  
そういう意味では、典型的な問題です。

## まずはこう解け！

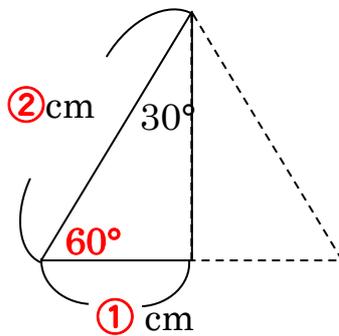
**Step1** 30°、60°の直角三角形（三角定規）を書き込む！

**Step2** 辺の長さが1：2であることを利用して計算する！

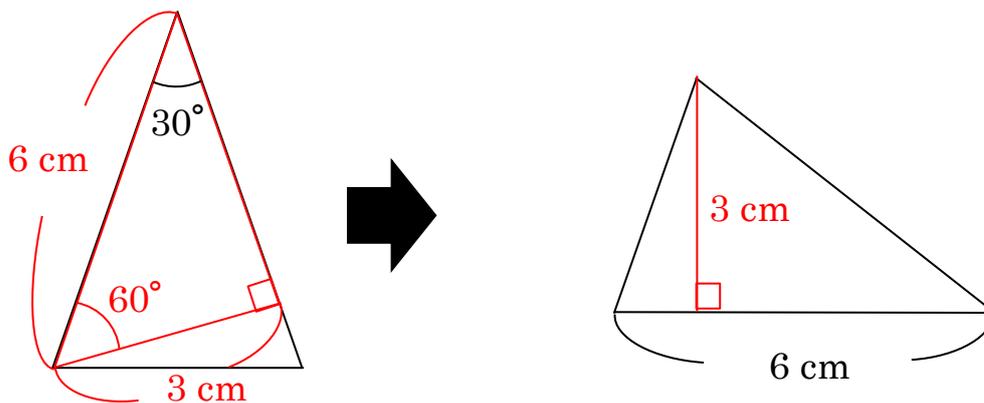
## 確認しておこう！【30°・60°の直角三角形…】

30°、60°の直角三角形は正三角形の半分です。

『60°をはさむ辺が1：2』と覚えましょう。


 解き方

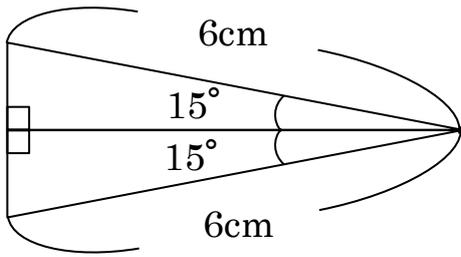
(1)



直角三角形を書き込むと高さにあたる部分が  $6 \div 2 = 3\text{cm}$  なので、  
面積は  $6 \times 3 \div 2 = 9\text{cm}^2$

**答え**  $9\text{cm}^2$

(2)



2 つくっけると(1)と同じ図形になる。よって求めるのは(1)の半分の面積。

**答え**  $4.5\text{cm}^2$

$$\ast 15^\circ = 30^\circ \div 2 \quad 120^\circ = 180^\circ - 60^\circ \quad 150^\circ = 180^\circ - 30^\circ$$

…これらの角度も特別角のなかまとして反応できるように意識しましょう。